

# 1. 経営成績及び財政状態

## (1) 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等

当第3四半期の自動車業界におきましては、国内販売はディーゼル排出ガス規制の代替需要で普通トラックが増加したものの、これまで国内市場を牽引してきた小型乗用車などが低迷し、前年同期並となりました。一方、輸出は欧州向けやアジア向けは増加しましたが、北米向けが減少したため、前年同期を若干下回りました。従って、国内自動車生産台数は前年同期並となりました。

このような環境の中で、当第3四半期の業績につきましては、連結売上高はスイッチ類やシートベルトなどの販売が順調に推移し、197,830百万円となりました。利益につきましては、売上高が好調に推移したことに加え、経営全般にわたる合理化に継続的に取り組んだ結果、連結経常利益は9,347百万円、連結四半期純利益は5,658百万円となりました。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等

当第3四半期の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末と比べ総資産は3,346百万円減少し、株主資本は3,701百万円増加いたしました。この結果株主資本比率は49.4%となりました。

流動資産が3,476百万円減少しておりますが、これは主に有価証券の減少8,475百万円によるものであります。流動負債が6,996百万円減少しておりますが、これは主に従業員預り金の減少6,164百万円によるものであります。

（キャッシュ・フロー計算書）

当第3四半期における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、10,013百万円となり前連結会計年度末より11,240百万円減少いたしました。

営業活動の結果得られた資金は6,515百万円となりました。これは税金等調整前四半期純利益9,382百万円、減価償却費7,650百万円による増加と、法人税等の支払5,353百万円による減少が主なものであります。

投資活動の結果使用した資金は9,934百万円となりました。これは有形固定資産の取得による8,232百万円及び連結子会社の株式取得による支出2,693百万円が主なものであります。

財務活動の結果使用した資金は7,817百万円となりました。これは社内預金払戻しによる支出6,164百万円が主なものであります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報等

当社を取り巻く経営環境、当第3四半期までの業績概況を勘案し、連結・個別とも、平成15年10月29日発表の業績予想を修正いたしました。

なお、当期より米国連結子会社の決算期を変更いたします。従って連結業績予想には、米国子会社の15ヶ月間の損益取引が含まれております。決算期の変更をしない場合の連結業績予想は、以下のとおりとなります。

（参考1）平成16年3月期の連結業績予想（米国子会社12ヶ月決算）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	272,000	13,600	8,000

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 103円61銭

（参考2）第3四半期個別経営成績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	総資産	株主資本
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
16年 3月期 第3四半期	174,073	6,088	6,512	3,844	163,694	83,339

（参考3）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期 末	
	百万円	百万円	百万円	円 船	円 銭
通 期	240,000	10,000	5,800	6 00	12 00

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期） 74円98銭

当該予想は発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。